第46回

埼玉文芸賞

今回（第46回）の応募期間は
9月2日（火）から**11月30日（日）（当日消印有効）**
です。皆様の力作をお待ちしています。
作品には**表紙を付け、部門、題名、応募者名を明記**して御応募ください。
なお、詳細については、次頁の【応募要領】をご覧ください。

募集対象作品

小説・戯曲（シナリオを含む）
文芸評論・エッセイ・伝記
児童文学
詩
短歌
俳句
川柳

選考委員

北原　立木	髙橋　玄洋	高橋千劒破
佐藤　健一	傳馬　義澄	野村　路子
青山　季市	天沼　春樹	金治　直美
北岡　淳子	鈴木東海子	野村喜和夫
沖　ななも	杜澤光一郎	水野　昌雄
猪俣千代子	落合　水尾	森田　公司
内田　雪彦	相良　敬泉	四分一周平

※氏名は部門別50音順で記載

● 賞
埼玉文芸賞（賞状・記念品及び副賞20万円）

● 応募期間
平成26年9月2日㈫
～平成26年11月30日㈰（当日消印有効）

作品募集

● 応募についてのお問い合わせ・応募先
さいたま文学館内「埼玉文芸賞」係
〒363-0022 桶川市若宮1の5の9
電話 048-789-1515

● 主催　埼玉県　埼玉県教育委員会
● 主管　さいたま文学館

彩の国
埼玉県

埼玉県では県内の文芸活動の振興を図るため、
文芸各部門について本年の特に優れた作品を顕彰します。

第４６回　埼玉文芸賞　応募要領

１　募集対象部門

次の①から⑦の７部門とします。

- ①　小説・戯曲（シナリオを含む）
- ②　文芸評論・伝記・エッセイ
- ③　児童文学（小説・童話・詩）
- ④　詩
- ⑤　短歌
- ⑥　俳句
- ⑦　川柳

２　対象作品

前項に掲げる各部門の作品で、次の(１)又は(２)とします。

（１）平成２５年１２月１日から平成２６年１１月３０日までの間に創作された作品
（２）上記と同期間内に、新聞・雑誌等に発表又は単行本として刊行された作品

３　応募基準

応募点数は、１人１部門につき１点とし、複数の部門にわたり応募することができます。
なお、上記１の①②③の部門については、下記のとおり基準枚数を設定していますのでご留意ください。

【　部　　門　】	【基　準　枚　数】
①　小説・戯曲（シナリオを含む）　… 1 編	400 字詰原稿用紙換算　30～100 枚
②　文芸評論・伝記　… 1 編	〃　30～100 枚
エッセイ　… 1 編	〃　10～ 50 枚
③　児童文学（小説・童話）　… 1 編	〃　5～100 枚
〃　（詩）　…10 編	
④　詩　…10 編	
⑤　短歌　…50 首	
⑥　俳句　…50 句	
⑦　川柳　…50 句	

*上記は、各部門１点としてご応募いただく作品数になります。

４　応募資格

埼玉県内に在住又は在勤、在学の方（ただし、平成１１年４月１日以前に生まれた方）

５　応募方法

（１）　原稿用紙により応募する場合（いずれもページ番号を欄外に記載してください。）

B4 判 400 字詰原稿用紙に、縦書き・楷書で記入し、作品の題名を明記してください。

パソコン使用の場合は、A4 判の用紙（横長の向き）に縦書きで、原則として 40 字×40 行で印字してください。なお、この場合は罫線等の印刷は不要です。

（２）　掲載誌又は単行本で応募する場合

ア　上記３①②及び③の「（小説・童話）」部門については、応募票欄外の＊１に選考の対象とする部分を「○○頁から○○頁まで」と明記してください。また、本文巻頭にも併せて「400 字詰原稿用紙換算○○枚」と朱書きしてください。

なお、選考対象とする部分を明示することが、上記の方法によりがたい場合には、作品を応募基準枚数内の原稿用紙に収めてお書きいただき、ご応募ください。（上記（1)の「原稿用紙により応募する場合」の方法に変更してご提出ください）

イ　上記３の「（詩）」部門及び④から⑦の部門については、それぞれの編・首・句数を満たしているか確認してください。

ウ　掲載誌で応募する場合は、応募票の欄外 *2 に誌名と発行年月日を明記してください。

（３）　提出について

応募作品に表紙を付け、「部門」「題名」「応募者名」を明記の上、作品１点につき**３部（コピー可）**と、部門ごとに下記の応募票１枚をあわせて提出してください。

６　応募先

さいたま文学館内「埼玉文芸賞」係
〒 363-0022　桶川市若宮１－５－９　　Tel. ０４８－７８９－１５１５

７　応募期間

平成２６年９月２日（火）から平成２６年１１月３０日（日）（当日消印有効）

８　発表・賞

入賞者には、平成２７年３月上旬に結果を通知します。各部門ごと１名に、埼玉文芸賞（賞状、記念品及び副賞２０万円）を贈呈します。該当者がいない部門については、準賞（賞状、記念品及び副賞１０万円）を贈呈することがあります。また、高校生等（平成２６年度末１８歳以下の方）の作品について、選考委員の推薦により奨励賞（図書カード）を贈呈することがあります。なお、選考についてのお問い合わせには応じられません。

９　その他

応募作品は返却しません。

正賞、準賞及び奨励賞受賞作品は、平成２７年６月刊行予定の「文芸埼玉」第９３号で掲載されることがあります。

応募者は「文芸埼玉」第９３号への作品掲載について、無償で承諾したものとします。

「文芸埼玉」への掲載作品についてはテープ等に録音の上、視覚に障害をもつ方の利用に供します。

--(きりとりせん)--

第46回　埼玉文芸賞　応募票

受付番号以外を記入してください。

受付番号	

部門	(該当するジャンルを○で囲んでください) **小説　戯曲　文芸評論　伝記　エッセイ** **児童文学　詩　短歌　俳句　川柳**		ふりがな **題　名**			
氏名	ふりがな **ペンネーム**		**性別**		**年齢**	歳
	ふりがな **本　名**		**職業又は 在学校名**			
住所	〒　　ー		**電話番号**	（　　）　　ー		
			原　稿 単行本 等の別	(該当するものを○で囲んでください) **原稿・単行本・その他（*2の場合）**		

＊1　部門①、②、③（詩を除く）の『掲載誌』『単行本』の場合の審査対象ページ
（　　　頁）から（　　　頁）まで
４００字詰原稿用紙換算（　　　枚）

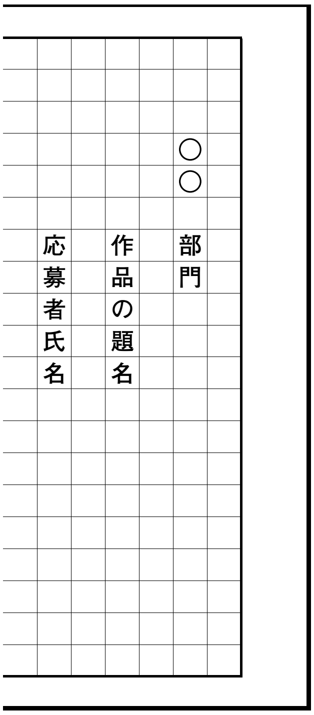
＊2　部門①～⑦の『掲載誌』の場合
誌名（　　　　　　　　　　）発行年月日（平成　　年　　月　　日）

＊ 個人情報は、応募者への問い合わせ若しくは当館の事務以外には使用しません。

＊ 記載例（パソコン使用の場合も同様に記載してください。なお罫線は不要です。）

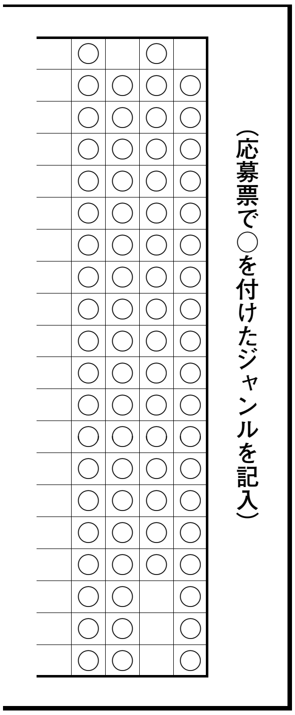
●表紙　記載例

応募する部門名、応募作品全体の題名（短詩型の場合は個々の作品名でも可）、応募者氏名をお書きください。



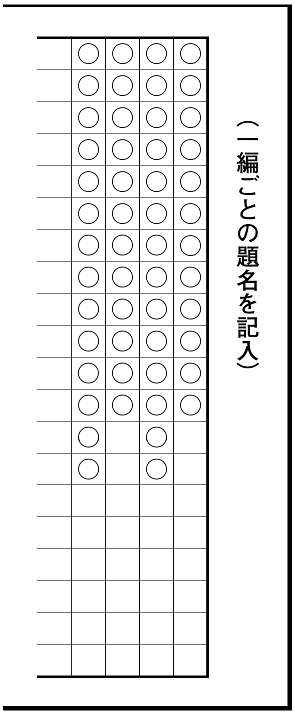
●小説等部門

一行目から本文を記入してください。
なお、句読点も一マスとしてください。



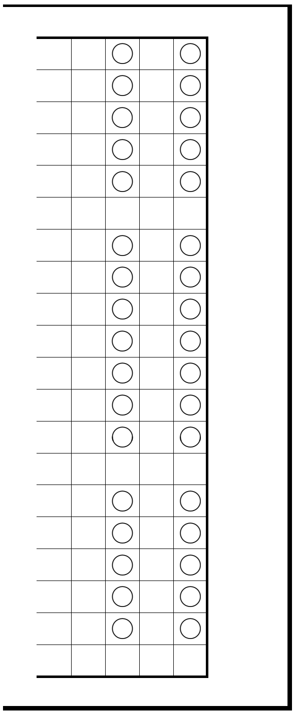
●詩部門

一行目から本文を記入してください。
なお、一編ごとの題名を欄外に記入し、応募作品全体の題名は、部門、応募者名と併せて表紙にお書きください。



●短歌・俳句・川柳部門

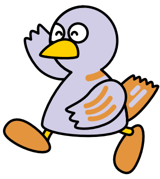
一行目から本文を記入してください。
旧仮名・新仮名の区別も明記［短歌・俳句部門］し、作品の間は一行空けてください。



＊ 応募する方へ　以下をご確認ください。
- □ 応募票に記入漏れはありませんか（題名と氏名をはっきりご記入ください）。
- □ 作品に表紙を付け、「部門」「題名」「応募者名」を記載しましたか。
- □ 部数は３部（コピー可）ありますか。
- □ 作品数・原稿枚数など応募基準をご確認ください。
  本文（巻頭）にも朱書きで、４００字詰原稿用紙換算（　　）枚とご記入ください。

＊ 詳細については下記へ直接お問い合わせください。

お問い合わせ先　さいたま文学館（埼玉文芸賞係）
〒３６３－００２２　埼玉県桶川市若宮１－５－９
電話　０４８－７８９－１５１５


埼玉県のマスコット
「コバトン」